学習内容報告書 フォーマット

学校名	貝塚市立津田小学校
授業者	藤原　猛

1.　単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1.　単元名

生き物のくらしと環境

1-2.　学年

6 年

1-3.　教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

理科

1-4.　単元の概要

生き物と、他の生き物や周りの環境とのかかわりについて、いろいろな方法で調べその結果をもとに、どのようなことが言えるか考える。
生き物同士がつながっている「食物連鎖」について知り、全ての生き物の土台としての植物があることを知る。
生き物の環境を支える、空気、水、太陽の光などそのどれもが大切であり、それらが複雑に関係することを知り、環境破壊が起きている現実を知る。
そして私たちが、どのように環境にかかわっていけばよいかを考える。

1-5.　単元設定の理由・ねらい

生き物と水、空気、食べ物とのかかわりに着目して、それらを多面的に調べる活動を通して、生き物と環境について理解を図る。

1-6.　育みたい資質や能力、態度

生き物と環境について進んで関わろうとする態度や、学んだことを生活に生かそうとする資質、能力を育みたい。

1-7.　単元の展開（全 10 時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	絵や写真を見て、生き物は他の生き物や周りの環境とどのように関わっているかを考える。 人の食べ物の本は何かを調べ、まとめる。	生き物や環境との関わりについて問題を見出し、表現しているか。
1	ダンゴムシが落ち葉を食べる様子や水中の小さな生き物を観察するなど自然の中で動物の食物を調べる。これらのことから生き物の食物を通した関わりについて考えまとめる。	自然の中の食べ物について生き物の中には食べる食べられると言う関係があることを理解している。
2	生き物は酸素を取り入れて二酸化炭素を出しているが、植物は日光に当たると、二酸化炭素を取り入れて酸素を出していることを理解する。	光合成と呼吸について理解する。

1	地球を巡る水と生き物の関わりについて考え、まとめる。また複雑に絡み合う関係性から、そのどれもが欠けることなく保たれていると言うことに気づく。	生き物と環境について空気や水、木生物の土台となる植物など水や空気が循環していると言う事から、複雑に絡み合っていると言うことを理解する。
2	貝塚の生き物について、お話を聞く。 ごみ問題を考えるために動画を視聴する。	貝塚には様々な生き物が存在することを知る。 貝塚市自然遊学館の講師の先生を招聘して、聞き取り学習を行う。
2	河口干潟や海浜での活動を通して、生き物の環境が単純ではないことを体感する。 プラスチックごみなど環境破壊が現実に起きていることを実感する。	生き物と環境のことが、自分の身近な周りでも観察できること、そこから自ら考え、積極的に環境に関わろうとする資質、態度を養う。

2.　学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1.　単元における位置づけ

単元　10　時間中の　9・10　時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目　/ 単元 15 時間中の 4,5 時間目

2-2.　本時の目標

貝塚の二色の浜にも様々な生き物がいることを理解する。
プラスチックなどのごみがたくさんある現実を知り、自分なりできることを考える。

2-3.　本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
河口干潟での観察では、近づいてみるとたくさんの生き物がいることに驚く。 二色の浜では、環境に良くないと思われるごみがたくさんなることを知り、驚く。 自分たちなりにできることを考える。 「わたしの行動宣言」を考える。	河口干潟では、干潮のタイミングで行き、地域の方々にも一緒に同行してもらう。環境は変わっても、昔も今も変わらずに生き物はそこにいることを知ることができるようにする。 自然物と人工物は環境に与える影響に違いがあることを事前に理解し、実際に体験しながら考えられるよう促す。

3.　今回の活動の自己評価

事前にプラスチックごみが環境に与える影響について考えらるように、NHK の動画を視聴しておいたことが児童には深く考える手助けになったと思われる。また、自然遊学館の講師の方にビーチコーミングの採集物について、人工物と自然物とほとんど変わらないペレットとコメツブウニの実物を用意してもらったことが、環境問題の解決の難しさを感じることにつながった部分がある。自分たちにできることとして、周りの人に伝えるということがもっと意見として出てくるかと思っていたが、意見として少なかった。プラスチックバックをなくす活動を始めた同年代の子どもたちのお話を、もう少し丁寧に指導するべきだった。

4.　今後の課題

予定が遅れ、環境を守ることを自分たちの身近なこととして考え、行動するところまでは活動として計画することができなかった。そこを改善していきたい。

5.　本学習内容報告書活用にあたっての留意点

※実施した単元ごとに作成してください。
※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。
※基本レイアウト
　フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm
※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。
　例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1
※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。